

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-01		
施設名	ふるさと文化館				
所在地	南千住六丁目63番1号（南千住図書館併設）				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成9年	3,600,000	0	0	3,600,000
増改築①					
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	平成10年5月1日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成10年5月1日		職員数	11	0
構造	鉄筋コンクリート造		階層	地上4階、地下1階	
面積	敷地面積		2,724 m <sup>2</sup>		
	延床面積		2,585 m <sup>2</sup>		
設置目的・経緯	区民の生涯学習の振興並びに荒川区における教育、学術及び文化の発展に寄与するため				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区立荒川ふるさと文化館条例				
駐車場の状況	8台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	80台	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	まで
事業内容	①荒川区の考古、歴史、民俗等資料の収集及び保存②常設展示及び特別展示事業（企画展等）③資料の専門的な調査研究④文化財の保存及び活用⑤郷土学習のレファレンス（資料紹介や学習アドバイス、団体見学対応等）⑥教育、学術及び文化の振興に関する事業（各種講座）⑦伝統技術の保護と育成（あらかわ学校職人教室、伝統技術展、荒川区伝統工芸技術継承者育成事業、伝統工芸ギャラリーの運営等）					
対象者	区民全般・荒川ふるさと文化館利用者等					
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）				
	休日	月曜日（祝日、振替休日の場合は翌日）、毎月第2木曜日、年末年始（12月29日～1月4日）、館内整理日				
施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度（見込み）
	観覧者数（有料）（人）	2,914	2,539	3,086	1,386	2,846
	観覧者数（無料）（人）	15,441	14,498	14,409	10,082	12,154
	観覧者 合計（人）	18,355	17,037	17,495	11,468	15,000
	伝統工芸ギャラリー入場者（人）	20,059	19,897	20,085	14,178	17,500
	視聴覚室（件）	9	12	13	3	10
	研修室（件）	24	21	29	9	15
	開館日数（日）	289	286	259	204	253
に指定等管理費						
備考	郷土学習室を平成28年度末でリニューアルし、あらかわ伝統工芸ギャラリーを平成29年度5月に開設した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月29日より休館。令和2年6月よりギャラリー展示等から段階的に再開し、7月より常設展示を再開した。令和3年4月28日から5月31日まで閉館。					

III 財務諸表

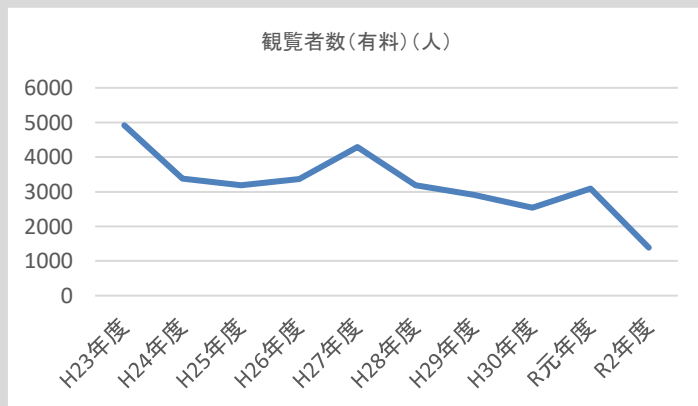
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	
	行政費用	給与関係費	53,182	58,547	5,365	地方税等	0	0	0
	物件費	71,007	47,048	▲ 23,959	国庫支出金	1,000	1,111	111	
	維持補修費	38,006	4,049	▲ 33,957	都支出金	5,388	2,905	▲ 2,483	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	16,254	9,094	▲ 7,160	使用料及び手数料	374	164	▲ 210	
	減価償却費	40,228	40,414	186	その他	426	335	▲ 91	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	7,188	4,515	▲ 2,673	
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,265	7,274	5,009	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 213,754	▲ 161,911	51,843	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	220,942	166,426	▲ 54,516	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 213,754	▲ 161,911	51,843	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	1,912	0	▲ 1,912	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	1,912	0	▲ 1,912	当期収支差額(e)+(h)	▲ 211,842	▲ 161,911	49,931	
貸借対照表	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	2,265	2,865	600
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	607,686	567,272	▲ 40,414	賞与引当金	2,265	2,865	600
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	1,492,706	1,492,706	0	固定負債	17,610	23,129	5,519
		建物減価償却累計額	▲ 885,020	▲ 925,434	▲ 40,414	特別区債	0	0	0
		工作物等	0	0	0	退職給与引当金	17,610	23,129	5,519
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	19,875	25,994	6,119	
	建設仮勘定	2,734	2,734	0	正味財産	824,417	783,118	▲ 41,299	
	その他の固定資産	233,872	239,106	5,234	正味財産の部合計	824,417	783,118	▲ 41,299	
	資産の部合計	844,292	809,112	▲ 35,180	負債及び正味財産の部合計	844,292	809,112	▲ 35,180	
備考	行政費用では物件費が多くかかっている。物件費は主に施設管理と事業に係る委託料であり、令和2年度は伝統技術展の中止により減少した。また、維持補修費は、荒川遊園煉瓦塀補修が令和元年度で終了したため、減少した。行政収入は、国庫支出金、都支出金の他、使用料及び手数料としてふるさと文化館入館料等、その他収入として有償頒布物代金がある。								

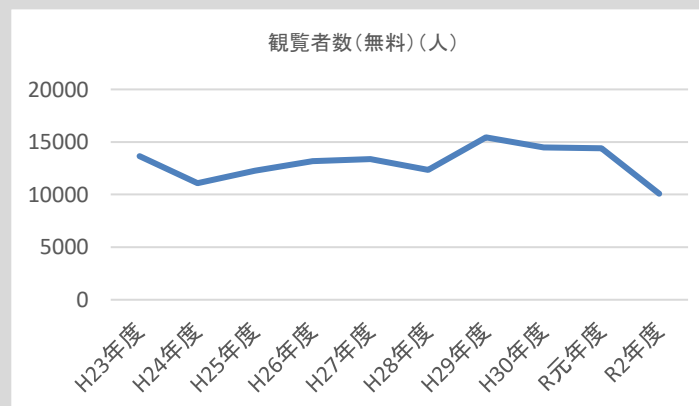
指標		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	54.0	57	59	62.0	
	1㎡当たりコスト(円)	66,414	70,670	85,484	64,392	
	来館者1人当たりコスト(円)	8,079	9,180	11,000	8,233	
	開館一日当たりコスト(円)	593,955	638,650	853,058	572,235	
備考	前年度と比較して全体的にコストが減少しているが、これは来館者数の減少以上に、行政費用の物件費や維持補修費等が減少したためである。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	観覧者数(人)	目標値 -	目標値 -	20,000	13,500	
	実績値	18,355	17,037	17,495	11,468	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○開設後20年以上が経過し、空調設備、照明のLED化等展示室の特定天井改修の施行、また、常設展示のリニューアル等を含む大規模改修を検討する必要がある。 ○観覧者を増加させるため、奥の細道コーナーや伝統工芸ギャラリーの充実、企画展の内容検討などと共に、更なるHPの充実・SNSの活用を図る等PR方法の改善が必要である。 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底して取り組んでいく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○優先順位の高い、防火シャッターや火災報知器の修繕・更新を実施し、安全を確保する。 ○展示と組み合わせるHPやSNSなどを活用して周知するだけでなく、ウェブ上でも一定の情報が得られるよう内容を充実する。 ○引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況に合わせ、必要な対策を講じる。					
議会、利用者等からの意見	・平成26年度2月会議 荒川ふるさと文化館のあり方について ・平成28年2月予特、9月決特 ふるさと文化館の名称変更等について ・平成29年2月決特 伝統工芸ギャラリーについて ・平成29年9月決特 ふるさと文化館の名称変更、施設の位置付け等について					



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉館したことにより、観覧者数(有料)が減少した。



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉館したことにより、観覧者数(無料)が減少した。

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-02		
施設名	生涯学習センター				
所在地	荒川三丁目49番1号				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	昭和45年			
	増改築①	平成8年	303,300		
併設施設	教育センター				
竣工年月日	昭和45年		区職員	その他	
供用開始年月日	平成9年		職員数	0	22
構造	RC造		階層	4階	
面積	敷地面積		6,766.09 m <sup>2</sup>		
	延床面積		2,970.35 (4530.36m <sup>2</sup> のうち) m <sup>2</sup>		
設置目的・経緯	区民の生涯にわたる学習の場の提供や講座の開催、生涯学習の情報提供、学習相談など、学習活動の推進を図る。				
関連部署	文化交流推進課、教育委員会事務局教育センター、福祉部高齢者福祉課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立生涯学習センター条例・施行規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	50台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	(株)読売・日本テレビ文化センター	期間	平成30年度 令和4年度	から まで
事業内容	区民カレッジ、サークル活動の支援、学習活動の相談、生涯学習情報提供、IT学習・専修学校公開講座				
対象者	荒川区内在住・在勤・在学者等				
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時			
	休日	年末年始、館内整備等による臨時休館			

施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
	利用者数(人)		137,572	134,378	138,950	66,259
利用件数(件)		7,517	7,351	7,124	5,855	6,400
区民カレッジ講座数		66	76	74	58	61
区民カレッジ受講者数		4,053	4,046	3,226	1,823	1,800
IT講習会参加者数		776	938	731	589	700
IT自習室参加者数		774	637	966	418	500
貸室稼働率		66	65	63	41	46
に指定 用係等 管理 費	指定管理料(千円)	61,739	66,734	67,472	68,742	69,983
	指定管理者の支出合計(千円)	63,743	63,436	62,614	59,808	69,187
	指定管理者の人員費(千円)	19,902	18,947	19,351	19,608	21,330
	指定管理者の利用料金収入(千円)	2,088	1,996	1,988	1,448	1,404

備考 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした緊急事態宣言等に基づき、施設の休館及び一部利用制限を行ったことにより、利用者数、利用件数が減少している。また、区民カレッジ、IT講習会についても、定員数を制限して実施したことにより、受講者数が減少している。

III 財務諸表

(単位:千円)

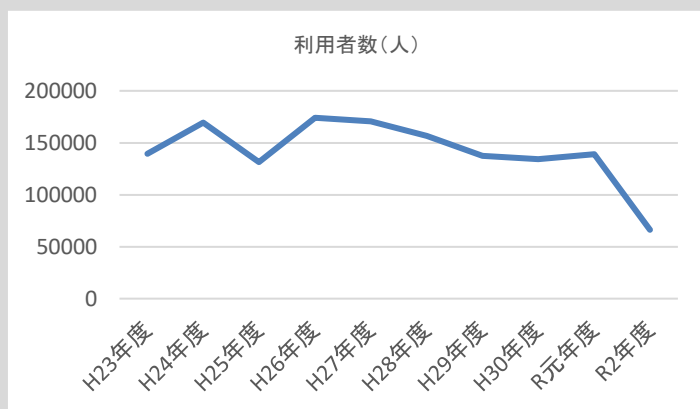
行政コスト計算書	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0
物件費		71,238	73,154	1,916	国庫支出金	0	0	0
維持補修費		459	3,421	2,962	都支出金	0	0	0
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等		48	48	0	使用料及び手数料	0	0	0
減価償却費		0	1,083	1,083	その他	4,041	4,986	945
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)	4,041	4,986	945
賞与・退職給与引当金繰入額		0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 68,837	▲ 84,448	▲ 15,611
その他行政費用		1,133	11,728	10,595	金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		72,878	89,434	16,556	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 68,837	▲ 84,448	▲ 15,611
特別費用(g)	0	923	923	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	▲ 923	▲ 923	当期収支差額(e)+(h)	▲ 68,837	▲ 85,371	▲ 16,534	
貸借対照表	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	35,226	50,865	15,639	その他の流動負債	3,232	4,552	1,320
	土地	35,226	35,226	0	固定負債	11,042	21,200	10,158
	建物	170,717	183,944	13,227	特別区債	0	10,200	10,200
	建物減価償却累計額	▲ 170,717	▲ 170,717	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	17,800	20,213	2,413	その他の固定負債	11,042	11,000	▲ 42
工作物等減価償却累計額	▲ 17,800	▲ 17,800	0	負債の部合計	14,274	25,752	11,478	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	44,000	49,829	5,829	
建設仮勘定	2,639	0	▲ 2,639	正味財産の部合計	44,000	49,829	5,829	
その他の固定資産	20,409	24,716	4,307	負債及び正味財産の部合計	58,274	75,581	17,307	
資産の部合計	58,274	75,581	17,307					

備考 行政費用では、指定管理料58,788千円を含む、物件費が多くかかっている。また、令和2年度は維持補修費として電話設備修繕工事に2,310千円かかっており、その他行政費用としてブロック塀改修工事の一部11,728千円を計上している。その他収入では4,986千円、指定管理料の返納金、光熱水費の収入がある。

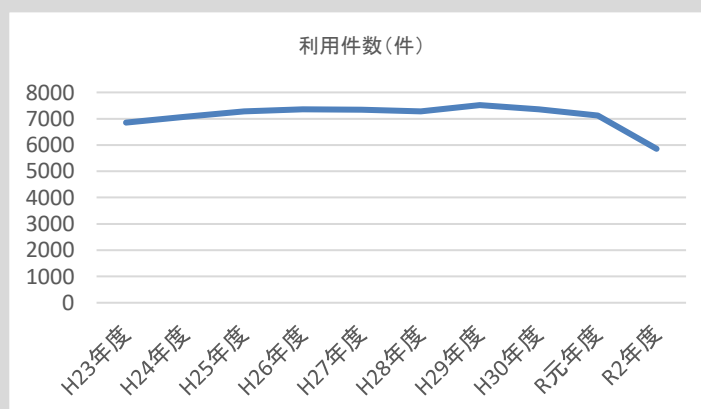
指標		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	92.3	
	1㎡当たりコスト(円)	14,950	16,074	16,087	19,741	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	31	30	31	32.8	
	開館1日当たりコスト(円)	190,247	204,548	204,713	251,219	
	利用者1人当たりコスト(円)	492	542	524	1,350	
	区民1人当たりコスト(円)	316	339	340	417	
	受益者負担比率(%)	3.0	3	3	1.8	
備考	1㎡当たりコスト、開館1日当たりコスト共に上昇しており、建物や設備の老朽化による維持管理コストの増加傾向がみられる。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	利用件数	目標値 7,500	7,500	7,500	6,000	6,400
		実績値 7,517	7,351	7,124	5,855	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ~平成15年度 直営 平成16・17年度 委託 平成18年度~ 指定管理) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	区民の生涯学習活動の拠点施設として、生涯学習を推進していく必要性は高い。					
現状・課題	○新型コロナウイルス感染症拡大防止対策、接遇の向上に徹底して取り組んでいく必要がある。 ○老朽化した設備等を計画的に修繕する必要がある。 ○受講率が低いIT講習会の講座を見直す必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○区及び指定管理事業者間で密にやり取りをし、感染症対策の徹底及び利用者が満足できるよう更なる接遇の向上に努める。 ○経年劣化した設備等は優先順位をつけて改修し、利用者がより安心して快適に利用できる施設環境を整える。 ○IT講習会の受講率を改善するため、区民のニーズなどを踏まえ、講座に反映していく。					
議会、利用者等からの意見	<議会> ・平成25年度 予特「多目的広場の大人の利用について」 ・平成28年度 予特、平成29年度 11月会議、平成30年度 9,11月会議「体育館への空調設置について」 ・令和元年度 決特「コンピューター室におけるPCの性能について」					



令和2年度は緊急事態宣言等に基づき、施設の休館及び一部利用制限を行ったことにより、利用者数が減少している。



令和2年度は緊急事態宣言等に基づき、施設の休館及び一部利用制限を行ったことにより、利用件数が減少している。

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-03		
施設名	町屋文化センター				
所在地	荒川区荒川七丁目20番1号				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和63年			
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日	昭和63年9月30日		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和63年11月1日	職員数	0	6	
構造	鉄骨鉄筋コンクリート	階層	3階		
面積	敷地面積	4,137.28 m <sup>2</sup>			
	延床面積	2,400 m <sup>2</sup>			
設置目的・経緯	多くの区民の学習・文化活動の場を提供し、生涯教育の推進と地域文化の振興を図る。				
関連部署	文化交流推進課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立町屋文化センター条例、同施行規則、荒川区立町屋文化センターの使用の予約に係る手続き等に関する要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	80台	対応状況	● 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団	期間	平成30年4月1日 令和5年3月31日	から まで	
事業内容	カルチャー講座、自主事業（一日文化体験・なないろひろば）等					
対象者	荒川区内在住・在勤・在学者等					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始、年3回の保守点検日				
施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度（見込み）
	貸室利用者数（人）	182,093	174,283	158,924	77,944	128,800
	貸室利用件数（件）	6,569	6,483	5,973	3,859	4,800
	貸室ホール稼働率（%）	75	76	69	58	70
	カルチャー講座数（講座）	689	689	654	504	510
	カルチャー講座受講者数（人）	4,388	4,069	3,879	2,901	3,100
	指定管理料（千円）	24,192	24,627	25,116	31,269	35,628
に指定 に係る 等管理 費	指定管理者の支出合計（千円）	37,151	38,342	37,054	37,373	42,583
	指定管理者の人員費（千円）	3,695	3,435	3,659	3,841	10,361
	指定管理者の利用料金収入（千円）	13,599	13,410	13,025	6,955	6,722
備考	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした緊急事態宣言等に基づく施設の休館及び一部利用制限を行ったことにより、貸室利用者数等が減少している。また、カルチャー講座についても、定員数等を制限して実施したことにより、受講者数が減少している。					

III 財務諸表

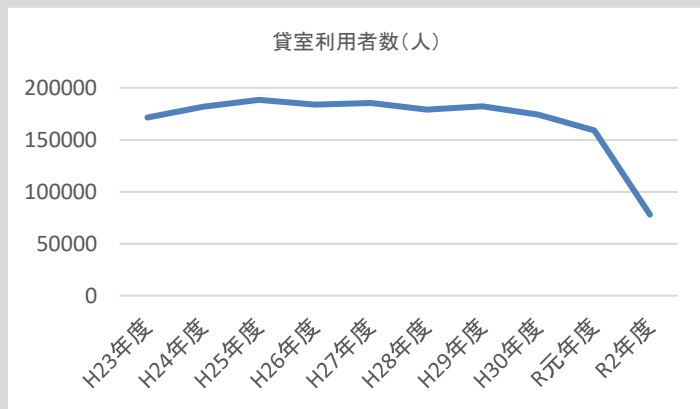
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	26,075	31,420	5,345	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	15,068	15,068	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	18,096	18,096	0	その他	1,236	1,747	511
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,236	1,747	511
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 58,003	▲ 62,837	▲ 4,834
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	59,239	64,584	5,345	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 58,003	▲ 62,837	▲ 4,834
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 58,003	▲ 62,837	▲ 4,834	
貸借対照表	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	767,152	749,056	▲ 18,096	その他の流動負債	0	0	0
	土地	657,907	657,907	0	固定負債	0	0	0
	建物	670,212	670,212	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 560,967	▲ 579,063	▲ 18,096	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	767,152	759,054	▲ 8,098
建設仮勘定	0	9,998	9,998	正味財産の部合計	767,152	759,054	▲ 8,098	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	767,152	759,054	▲ 8,098	
資産の部合計	767,152	759,054	▲ 8,098					
備考	行政費用では、指定管理料31,269千円を含む物件費が多くかかっている。また、イーストヒル町屋管理組合に支払う管理・修繕費として、補助費等が15,068千円かかっている。行政収入では、指定管理料の返納金及び使用許可団体からの光熱水費受け入れがあり、1,747千円の収入があった。							

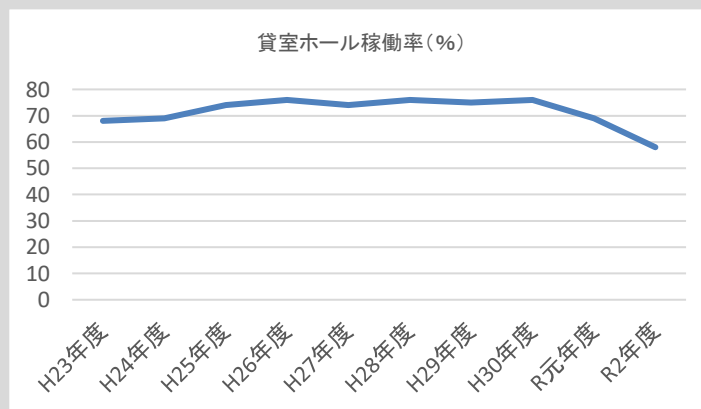
指標		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	78	81.0	84	86.4	
	1㎡当たりコスト(円)	23,939	24,689	24,683	26,910	
	人にかかるコストの割合(%)	10	9	10	10	
	開館1日当たりコスト(円)	16,138	16,644	16,640	18,142	
	利用者1人当たりコスト(円)	316	340	373	829	
	区民1人当たりコスト(円)	268	276	276	301	
	受益者負担比率(%)	19	19.0	18	6.9	
備考	令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大による利用者の減少により、利用者一人当たりのコスト等が増加した。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	利用者数(人)	目標値 180,000	180,000	180,000	122,000	128,800
		実績値 182,093	174,283	158,924	77,944	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ~平成17年度 委託 平成18年度~ 指定管理) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	生涯学習等の情報の収集、芸術文化の鑑賞、地域社会での交流					
現状・課題	○開設から33年を経過する施設であるため、設備や備品の老朽化が進んでいる。内装改修を中心としたリニューアルを予定しており、エレベーターや空調等の一部の老朽化設備を併せて更新する。並行して、大規模修繕等を計画的に進めていく必要がある。 ○リニューアル後の利用者の増加に向けた取組みとともに、コロナ後を見据えた施設のサービスについても検討する。					
課題に対する現時点での考え	○明るく、楽しく、何度でも気軽に行ける施設としてリニューアル改修工事を実施する。 ○来館者の増加に向けたリニューアル後のイベントの充実について指定管理者とより具体的な検討をすすめる。					
議会、利用者等からの意見	平成30年度決特 町屋文化センターのリニューアルについて 平成30年度11月会議 町屋文化センターの改修について 平成30年度2月会議 町屋文化センターのリニューアル状況の検討について 令和元年度決特 町屋文化センターリニューアルの進捗状況について					



令和2年度は緊急事態宣言等に基づき、施設の休館及び一部利用制限を行ったことにより、貸室利用者数が減少している。



令和2年度は緊急事態宣言等に基づき、施設の休館及び一部利用制限を行ったことにより、カルチャー講座受講者数が減少している。

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-04		
施設名	清里高原ロッジ及び清里高原少年自然の家				
所在地	山梨県北杜市高根町清里3545番5				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和58年 810,551	199,563	0	610,988
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和58年4月15日		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和58年4月15日		職員数	0	9
構造	RC造		階層	2階	
面積	敷地面積			32,322	m <sup>2</sup>
	延床面積			3,999.96	m <sup>2</sup>
設置目的・経緯	区民の健康増進、青少年の健全育成				
関連部署	指導室、学務課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立清里高原ロッジ条例、荒川区立清里高原少年自然の家条例、両条例施行規則				
駐車場の状況	約20台	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input checked="" type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	(株)ニッコトラスト	期間	令和3年度 令和4年度	から まで	
事業内容	移動教室等の宿泊事業、一般団体及び社会教育関係団体の宿泊、指定管理者自主事業等					
対象者	荒川区内及び山梨県北杜市に在住、在勤、在学者等					
運営時間等	運営時間	-				
	休日	11月上旬～4月下旬				
施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
	一般利用者(人)	2,170	2,546	3,046	312	419
	学校利用者(人)	5,396	5,516	5,720	0	5,524
	合計(人)	7,566	8,062	8,766	312	5,943
	施設稼働率(%)	31	37	35	4	4
	開所日数	191	187	260	127	190
に指定 係等 管理 費	指定管理料(千円)	56,093	56,784	57,091	60,079	69,325
	指定管理者の支出合計(千円)	77,015	89,252	85,531	61,619	86,456
	指定管理者の人件費(千円)	19,116	21,735	23,339	22,037	24,640
	指定管理者の利用料金収入(千円)	19,083	21,611	22,512	1,206	20,437
備考	一般利用は、積極的なPRや指定管理者の自主事業の実施等により、令和元年度までは増加傾向にあったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で減少した。					

III 財務諸表

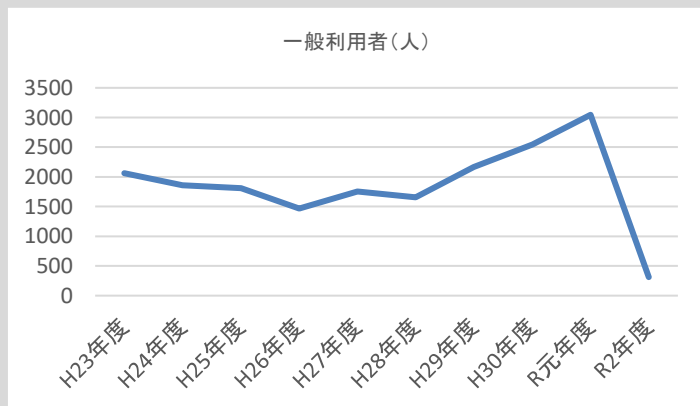
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	98,799	68,127	▲ 30,672	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	1,145	1,145	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	160	0	▲ 160	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	31,044	9,170	▲ 21,874	その他	5,023	0	▲ 5,023
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	5,023	0	▲ 5,023
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 124,980	▲ 78,442	46,538
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	130,003	78,442	▲ 51,561	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 124,980	▲ 78,442	46,538
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 124,980	▲ 78,442	46,538	
貸借対照表	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	117,992	111,303	▲ 6,689	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物	964,287	964,287	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 846,295	▲ 852,984	▲ 6,689	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	94,259	94,259	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 94,259	▲ 94,259	0	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	123,342	114,171	▲ 9,171
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	123,342	114,171	▲ 9,171	
その他の固定資産	5,350	2,868	▲ 2,482	負債及び正味財産の部合計	123,342	114,171	▲ 9,171	
資産の部合計	123,342	114,171	▲ 9,171					
備考	行政費用では、物件費のうち、指定管理者委託料が60,079千円と多くかかっているが、2年度は移動教室が中止となったため、施設使用料や給食費等にかかる費用が前年度と比較して大きく減少した。また、2年度は浄化槽原水ポンプ配管修繕に1,145千円の維持補修費がかかっている。							

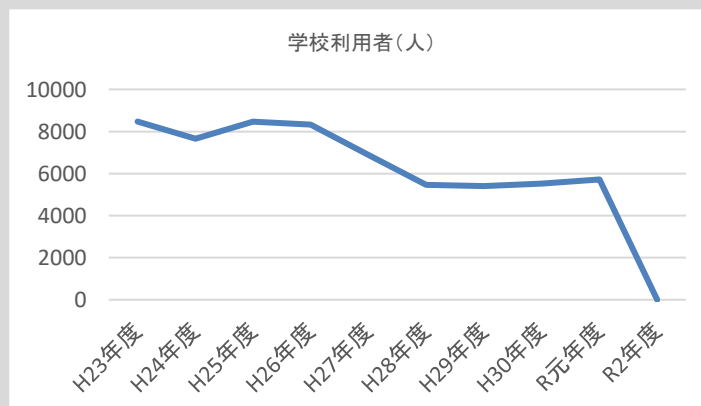
指標		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率	95	86	89	89.5	
	1㎡当たりコスト(円)	34,626	33,345	32,501	19,611	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	25	24	27	35.8	
	開所1日当たりコスト(円)	725,136	713,257	500,012	617,654	
	利用者1人当たりコスト(円)	18,306	16,544	14,830	251,417	
	受益者負担比率(%)	13	13.0	14	1.5	
備考	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により移動教室が中止となったことで、例年と比較し利用者が大幅に減少し、利用者一人当たりコストが増加した。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	一般利用者数(人)	目標値 -	2,300	2,700	2,014	5,943
		実績値 2,170	2,546	3,046	312	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ~平成17年度 委託 平成18年度~ 指定管理) ○ 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○開設から38年が経過しており、施設、設備を含めた計画的修繕が必要である。 ○令和3年度から指定管理者が変更となったが、これまでどおり利用者が満足できる施設運営を行う必要がある。 ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を十分に考慮し、施設の運営を進める。					
課題に対する現時点での考え	○中長期改修実施計画等にもとづき、必要な箇所を改修することで、さらなる施設の利便性、安全性の向上を図っていく。 ○指定管理者が変更となったが、区及び事業者間で密に連携し、従来どおり利用者が満足できるサービス水準を維持する。 ○利用者が安心して施設を利用できるよう、引き続き新型コロナウイルス感染対策を実施し施設を運営する。					
議会、利用者等からの意見	○平成27年度6月会議 トイレの洋式化について ○平成29年2月予特 施設を活用した高地トレーニング等の提案について ○平成30年2月予特 自然体験や文化芸術の合宿等での活用について ○平成31年2月決特 冬季開設について					



令和2年度は緊急事態宣言等に基づき、施設の休館及び利用制限を行ったことにより、一般利用者数が減少している。



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、移動教室が中止となったため、学校利用者数が0となった。